

# 防災、減災で連携協定

## 八工大と東北大 共同研究開発へ

八戸工業大インフラ・防災技術社会システム研究センター(センター長・長谷川明学長)は31日、東北大災害科学国際研究所(今村文彦所長)と防災と減災に関する連携協定を結んだ。

互いの知見を持ち寄り、防潮林を活用した沿岸部の減災方法などについて共同研

究開発に取り組む。

協定は▽学術・研究に関する教職員や研究者の交流▽共同研究開発▽研究設備の相互活用―など6項目。これまでに両大学の教員が地震や津波による堆積物調査などで連携しており、今回は大学レベルの連携に拡大した。



この日は八工大で締結式が行われ、長谷川学長が

協定書を取り交わす長谷川明学長(左)と今村文彦所長

31日、八戸市

「(両大学の)連携による研究活動が地域や世界に広がり、安心安全な世界にながればうれしい」と今後の展開に期待を込め、今村所長も「防災のほか、少子高齢化に関する課題解決策の提案など、さまざまな領域で連携していきたい」と述べた。

(須田山裕太)